

和歌山県の外来種リスト 哺乳類

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物法区分	国リスト区分	評価項目										由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考	
		和名	学名					生態系被害				分布拡大		重要地域	社会被害		人間による拡散		国外					国内
								競争	交雑	捕食	変容	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入						
1	霊長目	タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i> Swinhoe, 1863	防除対策外来種	消滅・根絶	特定外来生物	緊急対策外来種	◎	◎	—	○	○	○	—	—	○	○	—	○	—	台湾	和歌山市、海南市	里地里山	1959年頃、閉園した動物園から逸出し野生化。ニホンザルとの交雑による遺伝子汚染、農業被害等が発生。2002年度より捕獲を始め、2017年12月に根絶宣言(和歌山県)。
2	食肉目	チョウセンイタチ(シベリアイタチ)	<i>Mustela sibirica</i> Pallas, 1773	重点啓発外来種	分布拡大～まん延		重点対策外来種	◎	—	○	—	◎	○	○	—	○	○	—	○	—	朝鮮半島	記録上日置川下流域以北	市街地、住宅地、農耕地	国内では対馬のみに自然分布していたが、1930～45年頃に西日本で毛皮利用のため移入された。県内での経緯は不明。
3	食肉目	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i> (Smith, 1827)	防除対策外来種	分布拡大～まん延		重点対策外来種	—	—	○	—	◎	○	○	—	○	—	—	○	—	ヒマラヤ、中国南部、台湾、ポルネオ	県内全域	果樹園、里地里山、森林	2009年かつらぎ町浪田で、2012年白浜町十九瀬で確認。捕獲等の事例は少ないが山間部まで幅広く分布。
4	食肉目	アライグマ	<i>Procyon lotor</i> (Linnaeus, 1758)	防除対策外来種	分布拡大～まん延	特定外来生物	緊急対策外来種	○	—	◎	—	◎	○	◎	○	◎	—	—	○	—	北米～中米	県内全域	市街地、住宅地、里地里山、森林	2003年市町村アンケート調査(和歌山県)によると、1990年代初頭に生息情報があり分布は限定的であった。しかし、その後爆発的に増加し現在ほぼ県内全域に分布を広げている。
5	偶蹄目	タイワンジカ(交雑種)	<i>Cervus nippon taiouanus</i> Blyth, 1860	防除対策外来種	定着初期／限定分布			◎	◎	◎	○	◎	○	◎	—	○	○	—	○	—	台湾	和歌山市(友ヶ島)	森林、草原、湿地	友ヶ島(沖ノ島)へは、1955年に10頭(伊豆大島の繁殖個体)を観光目的で移入。2016年7月大阪府泉南郡岬町で在来ニホンジカとの交雑種捕獲。友ヶ島のシカは、遺伝子分析により、タイワンジカに加え、アカシカ、タイワンサンバーの遺伝的特徴が検出されており、沖ノ島に導入されたシカ個体群は台湾の養鹿施設に由来している可能性を示唆。
6	齧歯目	クリハラリス(タイワンリス)	<i>Callosciurus erythraeus</i> (Pallas, 1779)	防除対策外来種	定着初期／限定分布	特定外来生物	緊急対策外来種	○	—	○	◎	◎	○	◎	—	○	○	—	○	—	台湾、中国南東部、インド東部、ミャンマー	和歌山市(友ヶ島、和歌山城、秋葉山、雑質崎)	常緑広葉樹林、市街地	1954年12月に伊豆大島から友ヶ島(沖の島)に100頭移入し、管内で飼育したが80頭が逃走し野生化。
7	齧歯目	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i> (Molina, 1782)		定着初期／限定分布	特定外来生物	緊急対策外来種	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	南米中南部	和歌山市	河川・湖沼	2009年8月和歌山市福島で確認。